

地域振興推進費事業計画・自己評価書 (実績)

提出区分	実績	整理番号	3	課題区分	C	令和8年4月30日
横断的な課題	人々が、交流し活躍する暮らしの推進					
地域重点政策	北信州に生まれ・育ち・集まる人々が、交流し活躍する暮らしの推進					北信地域振興局
実施機関	北信地域振興局		担当課	所属	農地整備課	
事業名	農業資産を活用した出前授業・デジタルスタンプラリー			電話	0269-23-0211	
				E-mail	hokuchi-nochi@pref.nagano.lg.jp	
事業の概要等	目的 (目指す姿)	<ul style="list-style-type: none"> ・地元の高等学校を対象に地域農業の土台となっている農業資産(農業用施設)の存在や先人たちが築いてきた歴史を学ぶ出前授業を開催することで、農業農村を通じた郷土への深い理解と愛着を育み、地元定着のきっかけとするとともに、農業農村の重要性の理解を促進する。 ・地域内外の方々がデジタルスタンプラリーに参加することにより、地域住民が自らの地域の農業資産に対する関心を高めるきっかけとする。 				
	現状と課題	<p>農業資産は、その地域に様々な恩恵をもたらすが、多くの地域住民はその必要性に気づいておらず、農村地域の人口減少に伴い維持していくことが困難になりつつある。地域住民が自らの地域の農業資産の観光的価値を再認識するため、地域内外問わず幅広く農業資産の価値を伝え、維持管理や保全活動へつなげていく必要がある。</p> <p>特に早期から興味・関心を抱いてもらうためにも若い世代へ向けて幅広く農業資産の価値を伝えていく必要がある。また、人口減少下において、若者への地元への愛着と誇りをもってもらう機会の創出が必要であり、地元高校生等若い世代に地域の農業資産を通じて地域の歴史・文化に興味を抱いてもらい、郷土愛の醸成を図る。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・昨年度は出前授業を実施したが、高校からの評判も良く、今年度はより生徒の関心が高くなるよう内容を改善しつつ継続していく必要がある。 				
概要等	内容 (変更後の内容)	<p>○地元の高等学校において、農業資産を題材とした出前授業を実施する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・出前授業の実施概要 実施予定 令和7年11月11日(火) 9:00~11:50 場所 下高井農林高校 講師 農地整備課 計画調査係、管理係 <p>○北信管内市町村の農業資産と道の駅を回る、農業資産デジタルスタンプラリーを実施する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・実施概要 実施期間 令和7年5月1日~令和7年11月3日 実施場所 管内市町村につき1か所の農業資産及び道の駅 ・広報・共創推進課と協働し、長野県公式LINEを用いて実施する。 ・R6年度に作成した信州農業資産カード、信州農業資産プレミアムカードを本イベントの景品に、チラシ、ポスターを広報用として用いる。 ・本イベントの抽選で当たる景品として、各市町村の道の駅から農産加工品を購入し、当選者へ発送する。 ・市町村や道の駅に、イベントの広報や開催期間中のカード配布を依頼する。 				
	事業期間	令和7年4月 ~ 令和7年12月				
事業費等	(単位:円)					
	事業を構成する細事業名等	実施内容	計画(実績)額	備考		
	農業資産を活用したデジタルスタンプラリー	長野県公式LINEを用いて農業資産を巡るデジタルスタンプラリーを行う。景品として、参加者に信州農業資産カード及び信州農業資産プレミアムカード、当選者に農産加工品を進呈する。	127,379	10節 景品代 100,000円 (内訳) 農産加工品 100,000円(20名) 5,000円×4名×2市 =40,000円 5,000円×3名×4町村=60,000円 11節 景品送料 27,379円 (内訳) ①宅配料 10,120円 ②後納郵便料 17,259円		
合計			127,379			

指標及び達成状況	成果指標	目標値	成果	達成状況
	出前授業の実施	1回	1回	<input type="radio"/> 達成 <input checked="" type="radio"/> 一部達成 <input type="radio"/> 未達成
	授業内容が満足であったと回答した割合	9割	7割	
	デジタルスタンプラリー参加者	700人	248人	
	北信地域振興局管外からの参加者の割合	7割	8割	
事業実績・成果	<p>出前授業 下高井農林高校において、11月11日(火)に、農業用施設を題材にした出前授業を開催した。授業実施後のアンケート調査で、「授業内容はわかりやすかったか」「授業内容は興味深かったか」に対して、とてもそう思う・そう思うと答えた生徒は7割であった。施設を管理している土地改良区の方からの説明も理解を深めた。</p> <p>デジタルスタンプラリー 農業資産の魅力を発信するため、農業資産デジタルスタンプラリー(長野県公式LINEアカウント利用)を令和7年5月1日～11月3日まで開催した。昨年度作成した農業資産カードを各市町村道の駅で参加者へ配布した。参加者は248名、応募者は112名(管内:管外=20名:92名)であった。応募者からは、「知らない場所がたくさんあり、道の駅にも普段行けないので良い機会になりました。ぜひ、こんな企画がまたあったら参加したいです。」等、好評の声が多数寄せられた。</p>			
今後の方向性	<p>出前授業 授業内容を見直し、R8年度も実施する(0予算)。(R8.5実施予定)</p> <p>デジタルスタンプラリー 農業農村支援センターの美味しい食材フェアと連携したデジタルスタンプラリーを実施し、多くの参加者へ農業資産の魅力を発信する。</p>			